

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東淀川区
学 校 名	菅原小学校
学校長名	塩月 学

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 107名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率について、全国平均と比べると-5.7%であるが、昨年度より5%向上した。全国平均と比べて、まだ「書く」領域や「記述式」問題が低く、普段の授業や宿題等で書くことに慣れさせるところから取り組んでいきたい。

算数科の平均正答率について、全国平均と比べると-6.4%であるが、昨年度より7%向上した。全国平均と比べて、特に「変化と関係」領域が低く、低学年時より、具体的な場面に対応させながら式に表すことができるように取り組んでいく。

本校の場合、「国語や算数の勉強は好きだ」と答える児童の割合が高い。今まで以上に個別最適な学びや協働的な学びを進め、わかる授業・楽しい授業に取り組んでいきたい。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習規律を整え、落ち着いて授業に取り組んできたこと、国語科を研究教科とし、全校をあげて、しっかりと読み取り、伝え合い、振り返る授業づくりに取り組んできたことの成果が表れた。また、毎年5年生が漢字検定にチャレンジすることも、学習意欲の向上につながっている。

今後は、国語科で学んだことを活かして「総合的読解力」の育成にも取り組んでいく。

〔算数〕

特に「数と計算」「図形」領域の伸びが大きかった。習熟度別少人数指導やティームティーチング、個に応じた指導に取り組んできたことの成果が表れた。今年度より算数科を中心に、スクールアドバイザーの先生の指導の下、算数の授業づくりについての研究を進めており、基礎基本の定着とともに、思考・判断・表現力の育成に取り組んでいく。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいですか」「先生はあなたの良いところを認めてくれていますか」に対する肯定的な回答は高く、3年生以上全員に実施したアセスでも同様の結果が出ている。先生や友だちとの関係が良好なため、学校適応感が高いのだと思われる。

一方で、「授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答はやや低く、アセスでも「学習適応感」の低さが課題である。学習に対してやり方がわからなく、不安に感じている子に対して、読み取りの方法、情報を集めてまとめる方法、発表する方法や、問題の解き方などの「方法」を教えることを通して、学習に対する困り感を減らし、あきらめずがんばろうという気持ちや、やればできるという達成感を味わわせていきたい。

今後の取組(アクションプラン)

正答数の高い順に区切った四分位区分のグラフからも、本校は区分Ⅳ（学力に課題の見られる児童の割合）の多さが課題である。

まずは、教員の授業力向上に向け、研究・研修を重ねていく。そうして、どの子も意欲的にあきらめずに学習に取り組めるようにし、学習面でたくさんほめていく。

また、漢字や計算などのドリル学習に積極的に取り組めるように、「ナビマ」を活用していく。すぐに正誤がわかり、自分に合った学習ができ、取り組んだ分だけトロフィがたまるので、どの子も意欲的に取り組み、基礎学力を積み上げることができる。

さらに、個人のデータを収集分析することで、個に応じた指導にいかすとともに、可視化することで、本人が自分の苦手ポイントを自覚し、主体的に学習に取り組めるようにしていく。

【 全体の概要 】

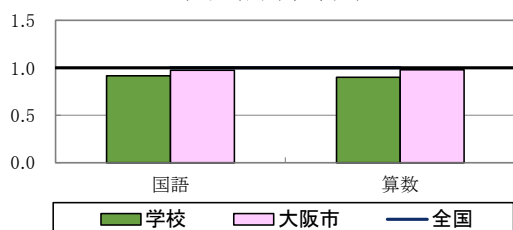
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	62	57
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

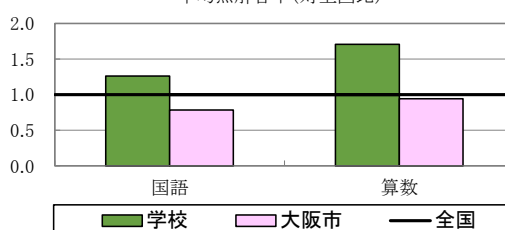
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	5.3	5.8
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



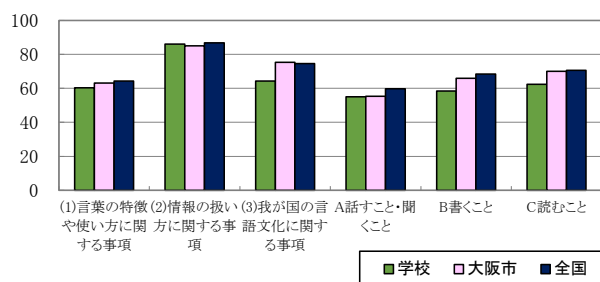
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	60.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	86.1	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	64.4	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	55.1	55.3	59.8
B 書くこと	2	58.4	65.9	68.4
C 読むこと	3	62.4	70.1	70.7

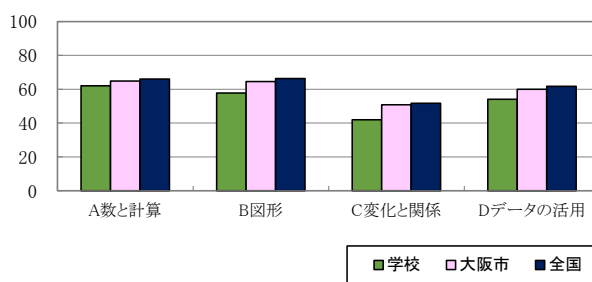
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	62.0	64.8	66.0
B 図形	4	57.8	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	42.0	50.8	51.7
D データの活用	4	54.0	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

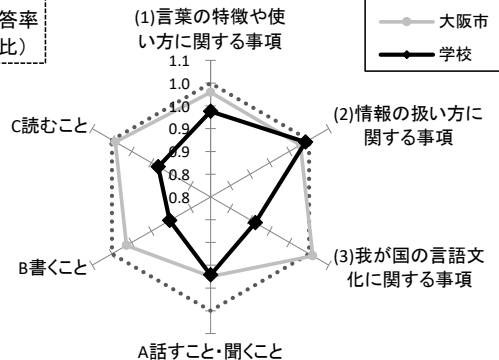


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



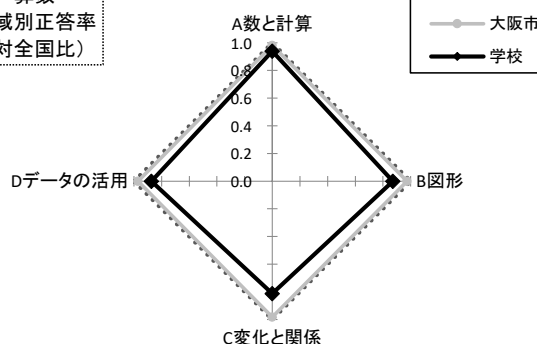
国語

内容別正答率
(対全国比)



算数

領域別正答率
(対全国比)



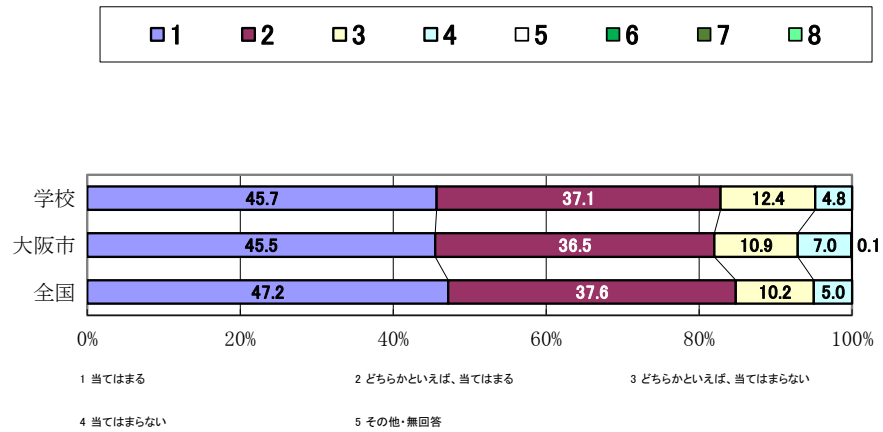
児童質問より

質問番号

質問事項

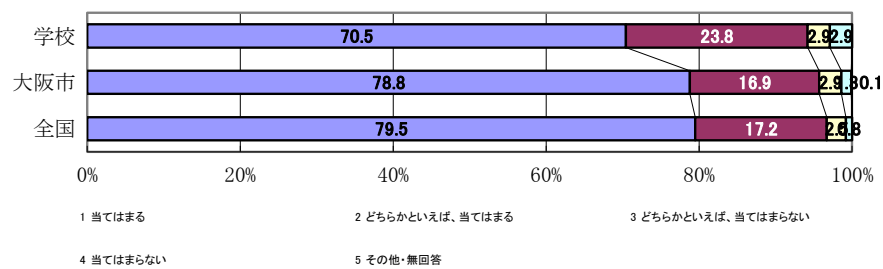
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



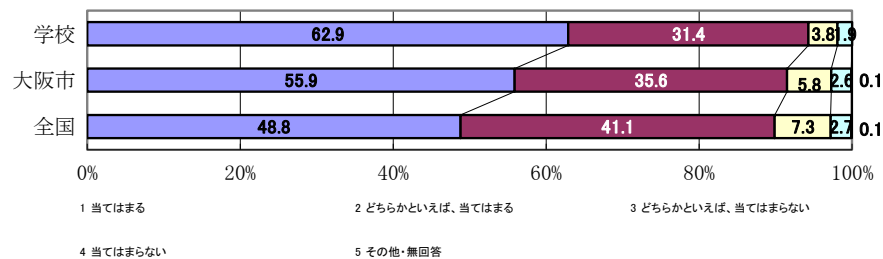
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



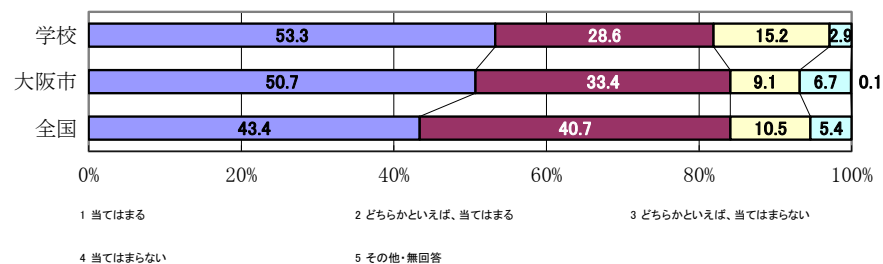
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



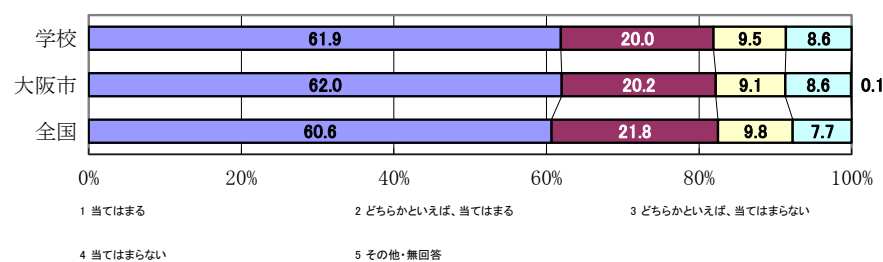
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



学校質問より

質問番号

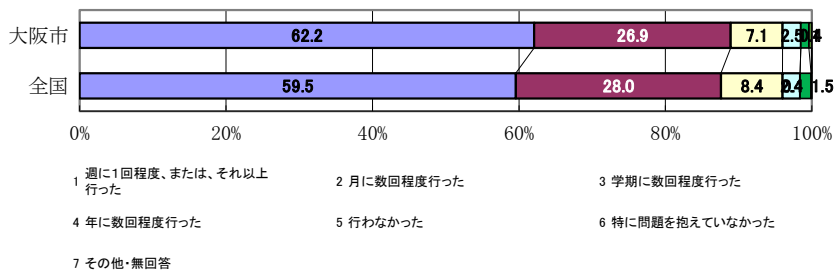
質問事項

10

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか



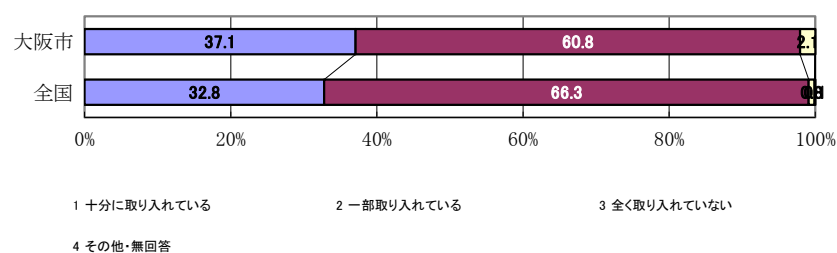
学校 「」を選択



11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

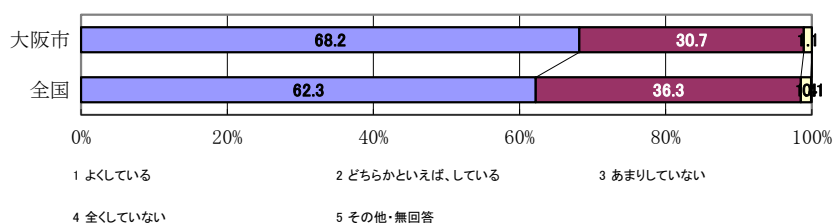
学校 「」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

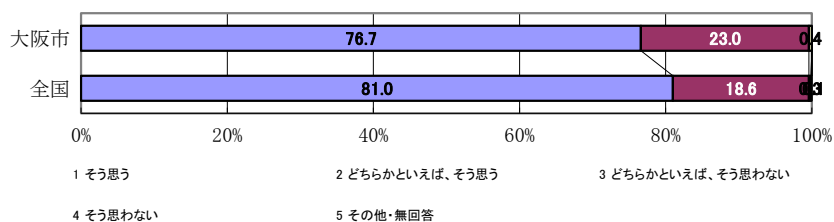
学校 「」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「」を選択

